

在宅看護学

- 科目到達目標: 1.地域・在宅で病や障がいとともに生きる人とその家族の生活と健康およびとりまく環境について説明できる
 2.在宅療養者とその家族が「どのように生活していきたいか」を尊重した生活支援について説明できる
 3.在宅におけるチームケアと看護師の役割について説明できる。

科目責任者(所属): **雑賀 倫子**(地域・精神看護学)

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	10/5(水)	2	112	特性① 在宅看護の役割・特徴	雑賀 倫子	地域・精神看護学	在宅看護の役割・特徴を説明できる	生活の継続、地域包括ケアシステム
2	10/12(水)	2	112	特性② 在宅看護の対象	雑賀 倫子	地域・精神看護学	在宅看護の対象について説明できる	在宅療養者とその家族、意思決定、権利擁護
3	10/19(水)	2	112	社会資源① 介護保険制度	雑賀 倫子	地域・精神看護学	介護保険のしくみを説明できる	介護保険法、要介護認定、介護支援専門員
4	10/26(水)	2	112	社会資源② 介護保険制度	雑賀 倫子	地域・精神看護学	介護保険におけるサービスの内容を説明できる	居宅介護支援、介護保険給付、居宅介護サービス
5	11/2(水)	2	112	社会資源③ 社会資源の活用と多職種連携	雑賀 倫子	地域・精神看護学	社会資源活用と多職種連携の方法について説明できる	社会資源、多職種連携
6	11/9(水)	2	112	社会資源④ 訪問看護制度	雑賀 倫子	地域・精神看護学	訪問看護制度のしくみを説明できる	医療保険、介護保険
7	11/16(水)	2	112	社会資源⑤ 訪問看護制度	雑賀 倫子	地域・精神看護学	訪問看護ステーションのサービス提供体制・管理・運営について説明できる	管理者、人員基準、介護保険と医療保険の使い分け
8	11/30(水)	2	112	病院と地域・在宅との連携	山岡 亜矢	(非常勤講師)	病院と地域・在宅との連携の実際を知る	地域連携、退院支援、退院調整、退院前カンファレンス
9	12/7(水)	2	112	在宅終末期ケア、エンド・オブ・ライフケア	雑賀 倫子	地域・精神看護学	終末期ケア、エンド・オブ・ライフケアについて意見を述べる事ができる	痛み、終末期ケア、緩和ケア、エンド・オブ・ライフケア
10	12/14(水)	2	実習室	事例検討①～③ 在宅療養者とその家族が「どのように生活していきたいか」を知り、生活上のニーズを明らかにする。ケアプランを考える。在宅生活継続を支援するために必要な視点について、自分の意見を述べる事ができる(個人ワーク・グループワーク)	雑賀 倫子	地域・精神看護学	ICFの概念、考え方、枠組み、特徴、使用目的を理解する	ICF、居宅介護支援(ケアマネジメント)、居宅サービス計画(ケアプラン)
11	12/15(木)	4	実習室	事例検討①～③ 在宅療養者とその家族が「どのように生活していきたいか」を知り、生活上のニーズを明らかにする。ケアプランを考える。在宅生活継続を支援するために必要な視点について、自分の意見を述べる事ができる(個人ワーク・グループワーク)	雑賀 倫子	地域・精神看護学	在宅生活を支援する際に参考となる考え方を理解する	ストレングスモデル、生活リハビリテーション、パーソンセンタードアプローチ
12	12/21(水)	2	実習室	事例検討①～③ 在宅療養者とその家族が「どのように生活していきたいか」を知り、生活上のニーズを明らかにする。ケアプランを考える。在宅生活継続を支援するために必要な視点について、自分の意見を述べる事ができる(個人ワーク・グループワーク)	雑賀 倫子 仁科 祐子	地域・精神看護学	生活への希望・意向を確認し、生活上の課題(ニーズ)を明らかにできる。必要なケアプランを考えられる。	セルフケア、ケアマネジメント、継続看護
13	1/11(水)	2	112	認知症の人と家族への支援	吉野 靖子	(非常勤講師)	認知症の人と家族への支援について意見を述べる事ができる	中核症状(認知機能の障害)、BPSD、尊厳、認知症ケア
14	1/18(水)	2	実習室	事例検討④ グループ発表、まとめ	雑賀 倫子 仁科 祐子	地域・精神看護学	在宅生活支援に必要な視点について、自分の意見を述べる事ができる。在宅ケアにおける多職種協働と看護職の役割について意見を述べる事ができる	チームケア、連携・協働、自律・責任
15	1/25(水)	2	112	訪問看護師の基本姿勢と倫理	雑賀 倫子	地域・精神看護学	訪問看護師の基本姿勢と倫理について意見を述べられる	基本的的人権、倫理、クリティカルシンキング、マナー、個人情報の保護

教育グランドデザインとの関連: 1,4,5,6,7

学位授与の方針との関連: 3

評価: 定期試験 50%

レポート 50% (第8回および第13回の非常勤講師による講義時のレポート、第10,11,12,14回的事例検討とレポート、その他非定期のミニレポート。)

* レポートの詳細は授業中に提示する。* 単位取得には定期試験で6割以上の得点が必要。* 出席状況も加味する。

* 事前連絡のないレポートの提出遅れ、未提出は大幅な減点となります。

教科書: 河原加代子他著. 系統看護学講座 統合分野 在宅看護論. 医学書院

参考書: 長江弘子編著. 生活と医療を統合する継続看護マネジメント. 医歯薬出版

社会保険研究所. 訪問看護業務の手引 平成24年4月版. 社会保険研究所. 介護保険制度の解説. 平成24年4月版